

登録コード	HM229105	開講年度	2026				
授業題目	成人保健学演習 F				担当教員	浅野 美礼	
英文授業名	Practice in Adult Health Science				副担当		
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・ 5 時限 木曜・ 6 時限	対象学生	成人保健学ユニット / 1 年次
講義室			授業形態	演習	備考	選択科目	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)		
	2026HM保健学分野加, 2025HM保健学分野加, 2024HM保健学分野加, 2023HM保健学分野加						
	【研究科共通_2024年度以前加修対象】高度専門職業人・研究者として、科学・技術を発展させるための健全な倫理観				看護保健医療福祉の専門職としてのケアの倫理、哲学について理解し研究計画に反映することができる。		
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能				看護保健医療福祉の領域で遠隔看護等の情報技術を活用したケアの動向を探求する。		
(2)詳細 /Detailed information	研究論文の講読とプレゼンテーションを通じて、看護理工学にまつわる新しい知見、理論、方法論の理解を深めながら、自身の臨床疑問を研究疑問に落とし込む方法を修得します。						
(3)授業の概要 /Overview of course	以下の目標に向けて主体的かつ自律的に取り組む。 1. 国内外の研究の動向を理解するため、文献を検索し収集する。 2. 対象文献をよく読み、信頼性、妥当性について検討する。 3. 対象文献で用いられている分析法について理解する。 4. 研究計画書作成に向けての研究課題の絞り込みを行う。						
(4)授業計画 /Course plan	第 1回 オリエンテーション 第 2回 関心のあるテーマのヒアリングとディスカッション 第 3回～第14回 看護理工学に関する文献のレビュー プレゼンテーションとディスカッション ・研究デザインと方法に関する理解共有 ・倫理的な問題点の有無に関する考察 第15回 まとめ						
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	最終回の授業後に、プレゼンテーションの内容80%、ディスカッションの内容20%で評価します。 問題の設定が適切であり、 その問題の背景を説明できており、 その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、 それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており、 その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。 から の5項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」。 4項目までできていれば「やや上にある（良）」。 3項目までできていれば「水準にある(可)」。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	関連文献について事前事後学習を含め十分に調査準備してください。 授業では準備してきた内容をプレゼンテーションしてもらいます。 当日回での確認事項や指摘事項を次回までの課題とし、次回の授業でプレゼンテーションしてもらいます。 プレゼンテーションを聞く者は積極的にディスカッションに参加してください。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	随時対応します。事前にメールで連絡してください。 保健学科中校舎4階 浅野研究室 millet@shinshu-u.ac.jp						
(8)授業の形式 /Course format	プレゼンテーション、ディスカッション						